

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	皇漢堂製薬三田工場新棟建築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県三田市テクノパーク21番1号	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	5地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年6月19日
敷地面積	34,655 m ²	作成者	大林組
建築面積	4,168 m ²	確認日	2020年6月19日
延床面積	15,021 m ²	確認者	大林組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	製薬工場としての機能を確保するとともに、外壁には断熱サンドイッチパネルを使用し、断熱性の確保に努めた。また、敷地境界から十分な引きを確保した配置計画を行うとともに既存棟と合わせた外装材の色・素材を選定する事で地域の景観に考慮した。	その他 特に無し
Q1 室内環境	簡潔な動線計画とし、無駄の少ない室レイアウトとした。また機械室を集約配置し、機室内の壁・天井には遮音材を設置することで騒音に対する対策を図った。各床・壁取り合い部の入隅部分はRを設け、清掃性を高めた。	Q3 室外環境(敷地内) 工場立地法に必要な緑化面積を十分に確保する計画とすると共に、既存緑地を極力残す計画として環境への配慮を行った。
LR1 エネルギー	運用時に稼働機器のモニタリングが出来る計画とした。一般グレードの実験室・保管室等は、夜間時に換気を停止する省エネ運転モードを備えた。	LR3 敷地外環境 敷地外への騒音が無いように建物と敷地境界までの離隔を十分に確保した。
Q2 サービス性能	主要な諸室および廊下は天井高を2700mm以上とし、十分な高さを確保することで快適性を向上させた。また、要求される清浄度が比較的低い廊下部分は建屋外周部に配置し、連窓窓を設ける事で、自然採光の入る快適な室内環境となるように配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	節水型コマや省水型機器を用いることで省エネに配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される